（様式第２（二））

医薬品　副作用・感染症　症例票（国内・外国）

識別番号・報告回数	B-03010286	第3報	一般的名称	塩酸アマンタジン	該当なし

担当医等の意見	報告企業等の意見
＜弊社MRが口頭にて担当医より得た情報：　2004年3月3日入手＞ 　もともとそういった素因は併せ持っていたので、シンメトレルのせいとはいえないが、はっきり因果関係は否定できない。血液の分画検査等も今後行う予定もない。 （追加情報1） 発熱とは無関係と思われる。	アマンタジンの血中半減期は約12時間であり、48時間程度でほぼ血中から消失する。この患者の症状は1週間続いていた。腎障害はないようだが高齢（78歳）であることを考慮してもやや長いようである。 見当識障害［既知・準重篤 -Suspected］ （追加情報1） 全ての自発報告症例は、報告の観点から本剤との因果関係を否定できないものとみなす（All spontaneous reports are considered suspected for reporting purposes.） ただし、本症例においては他の要因［患者の基礎疾患、既往歴］が関与していることも考えられる。 見当識障害［既知・準重篤 -Suspected］ 大脳萎縮［未知・準重篤 -Suspected］

今後の対応
本報告をもって特別な対応は不要と考えるが、今後とも類似の報告に留意したい。

送信者による診断名／症候群及び／又は副作用／有害事象の再分類	第一次情報源により報告された副作用／有害事象

累積報告件数・使用上の注意記載状況等
【差し替え報告】 医師見解、経過情報、事象の追加のため差し替え報告を行う。 1.使用上の注意　記載状況 　【その他の副作用】失見当識 　【高齢者への投与】高齢者では副作用（特に興奮、見当識障害、幻覚、妄想、錯乱等の精神症状）があらわれやすいので、低用量から開始し、用量並びに投与間隔に留意するとともに患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。 2.累積報告件数 　大脳萎縮：国内 4件目（今回の報告含む）　外国 報告なし。

引用文献	資料一覧

MedDRA	Version (10.0)